

(31) 社会 3 2013年(平成25年)12月27日 (金曜日)

# 金大超小型衛星開発へ

## 来年度から 宇宙担う人材を育成

金大は来年度から、安価で実用的な人工衛星の設計・製作に取り組み。5年計画で超小型衛星を開発する。製作過程を学生の教育プログラムとして活用し、次世代の宇宙科学・工学を担う人材を育成する。新年度政府予算案に初年度の事業費4600万円が盛り込まれた。

初年度は衛星試作モデルの設計やカリキュラム作成に向けた情報収集を進める。理工研究域が主体となり、先端宇宙理工学教育プログラムの構築や大学院の宇宙理工学コース設置を目指す。

金大はこれまで日欧共同の水星探査計画の機器開発や、宇宙で最大の爆発とされる「ガンマ線バースト」の光の振動方向の測定などに参加しており、実績やノウハウを活用する。

このほか、肝臓病に対する幹細胞・再生医療の研究を強化する。脂肪組織由来の幹細胞を用いて、再生医療による肝硬変の治療法確立を目指す。初年度の事業費は1800万円。